

2. 各分野の俯瞰報告書の概要

俯瞰報告書（2017年）では、分野ごとに、俯瞰対象分野の全体像（俯瞰の構造と範囲、研究開発の歴史・変遷、研究開発を取り巻く現状、今後の展開と日本の研究開発戦略の方向性）を記述するとともに、全分野を通じて25俯瞰区分・168研究開発領域について、国内外の研究開発動向や科学技術的・政策的課題等とともに、日・米・欧・中・韓等の国際比較（基礎研究／応用研究・開発フェーズごとの現状・トレンド）などの情報をまとめている。

なお研究開発領域ごとの国際比較については、2015年版までは基礎研究／応用研究・開発／産業化の三つのフェーズで評価をしていたが、2017年版では産業化を開発に含め基礎研究／応用研究・開発の二つのフェーズで評価することとした。評価は、一つの研究開発領域あたり2～3名程度の専門家の評価に加え、CRDSでの調査結果を踏まえて総合的に評価した。各国の状況や評価の際に参考した根拠などは、各分野別の俯瞰報告書に記載している。

次頁以降は、分野毎に俯瞰報告書の概要をとりまとめたものである。詳細な内容は各分野の報告書を参照いただきたい。

エネルギー分野	: 3 俯瞰区分・31 研究開発領域
環境分野	: 4 俯瞰区分・15 研究開発領域
システム・情報科学技術分野	: 6 俯瞰区分・36 研究開発領域
ナノテクノロジー・材料分野	: 7 俯瞰区分・37 研究開発領域
ライフサイエンス・臨床医学分野	: 5 俯瞰区分・49 研究開発領域

なお、研究開発戦略を立案する際に参考になる重要な主要国の研究開発戦略については、「主要国の研究開発戦略」として別冊で作成した。「主要国の研究開発戦略」では、主要国の政府機関が公表する文書等の中から、日本の研究開発戦略を作る上で最低限知っておくべき重要な文書等を抽出し概説しているので合わせて活用いただきたい。